

# 令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 4 文化的で豊かな共生社会の実現

<b>主要課題</b>	No. 37	図書館機能の向上
-------------	--------	----------

<b>● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●</b>		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	老朽化した図書館の改築・改修等の対応が計画的に進められるとともに、これからの図書館に求められる機能やサービスが導入され、利用者の利便性が向上している。	
計画期間の方向性	○これからの図書館に求められる機能の検討・導入 「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会」での検討を踏まえ、これからの図書館として新たに備えるべき機能（図書館システムのICT化等）について、順次導入していきます。 ○老朽化した図書館の改築・改修 「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会」での検討を踏まえ、老朽化する小石川図書館の改築の方針や、その他の地区館の対応について検討を進めます。	

<b>0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）</b>	
利用者の利便性向上につながるよう、引き続き、電子書籍の充実と利用促進を図るとともに、ICTタグの導入等、更なるICT化の推進について検討を進めていきます。 また、小石川図書館の改築については、竹早公園との一体的整備に関する基本計画の策定に着手し、図書館と公園を一体的に整備することによる都市計画公園としての有効性や課題を把握した上で、新たな図書館で提供するサービスのあり方や蔵書目標、施設の整備目標等を検討していきます。	

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

<b>1 どのような事業で・何をしたか（実績）</b>		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割					事業費(千円)	
132	区立図書館改修等に伴う機能向上	真砂中央図書館	地域の情報拠点やコミュニティの場として、求められる新たな機能を備えた図書館を整備する。					12,635千円 (10,844千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 電子書籍の貸出状況		回 (点数)	—	—	6,277 (1,563)	28,793 (3,664)	28,120 (4,417)	
	R1(2019)	「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会」において、今後の図書館のあり方や小石川図書館の改築についての検討を行い、中間報告書を作成しました。							
	R2(2020)	「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会」の報告書に基づき、令和3年1月から電子書籍の貸出を開始し、障害者及び高齢者等の読書環境の確保や、感染症に対応した非来館型の図書館サービスの提供に努めました。また、小石川図書館の改築等に向け、関係部署による検討に着手しました。							
R3(2021)	令和3年1月から開始した電子書籍はコンテンツの充実を図りました。小石川図書館の改築については、竹早公園との一体的整備に向け、関係部署の検討会等において関連法令や各施設の現状を把握するとともに、一体的整備の課題や今後の方向性などを整理しました。								
R4(2022)	電子書籍は、資料の入れ替えや資料数の増加などコンテンツの充実を図りました。小石川図書館の改築については、竹早公園と図書館を一体的に整備することによる都市計画公園としての有効性や課題を基礎調査で明らかにした上で関係部署の検討会においてコンセプトを定め、基本計画の策定に着手しました。								
<b>● 特記事項（実績の補足）</b>									

<b>2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）</b>		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等により、インターネットからの図書館資料の予約・リクエスト件数が増加しました。また、非接触型のサービスを求める利用者からの意見等も増加しています。		

**3 現総合戦略における成果や課題は何か (点検・分析)**

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じていないか」などを点検・分析します。

**○これからの図書館に求められる機能の検討・導入**

「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会」報告書を踏まえた図書館サービスの充実として、ICT化については、令和3年1月の図書館システムの更新に合わせて、電子書籍の導入や読書記録、イベント申込機能等を追加するほか、5年4月からスマートフォンでの利用券表示機能を導入するなど、利便性の向上に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染リスクを避けることのできる非接触・非来館サービスへのニーズも高まり、電子書籍の利用は定着しつつあります。利用者からの要望の多いICタグによる貸出などICT化の推進については、具体的な検討を進める必要があります。

なお、2年度は貸出数が大幅に減少しましたが、電子書籍のコンテンツの充実や本の福袋、特集展示など、区民にとって利用しやすいサービスを継続的に提供してきたことで、コロナ流行前と同様の貸出数に回復しています。5年4月には、大塚地域活動センターでの図書取次を開始しました。

一方、図書館の使われ方や利用者ニーズは変化を続け、学習のできる場としての利用の要望があるなど、本を貸し出すことだけにとどまらず、地域の身近な学習拠点として、区民の多様な学習ニーズに対応する環境づくりが求められています。

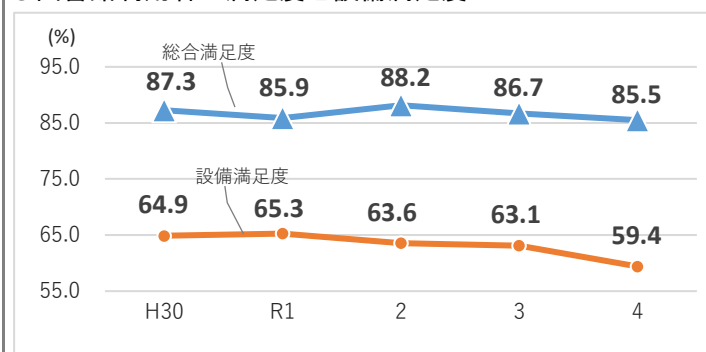
**○老朽化した図書館の改築・改修**

小石川図書館の改築については、竹早公園と一体的に整備することによる都市計画公園としての有効性などを整理して一体的整備に関するコンセプトを定め、基本計画の策定に着手しました。

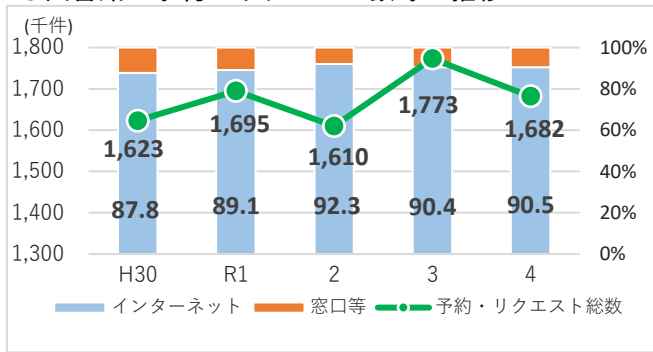
基本計画では、コンセプトを踏まえつつ、新たな図書館で提供するサービスのあり方や蔵書目標、施設の整備目標等の検討を進めていく必要があります。

そのほか、老朽化の進んでいる地区館についても計画的な改築・改修の検討が必要となっています。

**●図書館利用者の満足度と設備満足度**



**●図書館の予約・リクエスト数等の推移**



**4 次期総合計画において、どのように進めていくか (展開)**

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

「資料の収集・保存・貸出」といった図書館の基礎的な機能は維持しながら、ICタグ等の導入による貸出のセルフ化など更なるICT化の推進による利用者の利便性の向上を図るとともに、区民の多様な学習を支える環境づくりなど、図書館システムの更新や図書館の改築の機会を捉えながら、地域の身近な学習拠点としての図書館の機能を向上させていきます。

**5 6年度、事業をどうするか (事業の見直し)**

主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
132	区立図書館改修等に伴う機能向上	真砂中央図書館	レベルアップ